



5 אֹלָם אֶלְכָה נָא יָדְךָ וְנָגַע אֶל-עַצְמוֹ וְאֶל-בְּשָׂרוֹ אִם-  
 しかし 伸ばして どうか あなたの-手を 打ってください 彼の-骨と 肉を 肉を  
[H0199](#) [H7971](#) [H4994](#) [H3027](#) [H5060](#) [H0413](#) [H6106](#) [H0413](#) [H1320](#)

לֹא אֶל-פְּנֵי יְבָרְכֶךָ:  
 ない あなたの-面に-向かって 顔を 呪うでしょう  
[H3808](#) [H0413](#) [H6440](#) [H1288](#)

しかし、あなたの手を伸べて、彼の骨と肉とを撃ってごらん下さい。彼は必ずあなたの顔に向かって、あなたをのろうでしょう」。

6 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל-הַשָּׂטָן הֲנִי אֶת-נַפְשׁוֹ  
 言われた 主が に サタン 見よ-彼は おまえの-手の-中にある 彼の-命だけは  
[H0559](#) [H3068](#) [H0413](#) [H7854](#) [H2009](#) [H3027](#) [H0389](#) [H0853](#) [H5315](#)

שָׁמֶר:  
 守れ  
[H8104](#)

主はサタンに言われた、「見よ、彼はあなたの手にある。ただ彼の命を助けよ」。

7 וַיֵּצֵא הַשָּׂטָן מֵאֶת פְּנֵי יְהוָה וַיִּדָּךְ אֶת-אִיּוֹב בְּשַׁחֲוִין רָע מִקַּף  
 出て-行った サタンは から 御前 主の 打った 悪い ヨブを 足-の-裏から はれ物で  
[H3318](#) [H7854](#) [H0854](#) [H6440](#) [H3068](#) [H5221](#) [H0853](#) [H0347](#) [H7822](#) [H8432](#)

רִגְלוֹ [עַד] (וְעַד) קְדָקְדוֹ:  
 彼の まで まで 頭の-てっぺん  
[H7272](#) [H5704](#) [H5704](#) [H6936](#)

サタンは主の前から出て行って、ヨブを撃ち、その足の裏から頭の頂まで、いやな腫物をもって彼を悩ました。

8 וַיִּקַּח-לוֹ חֶרֶשׁ לְהַתְנַדֵּךְ בּוֹ וְהוּא יֹשֵׁב בְּתוֹךְ-  
 取った 彼は 土器の-かけらを かき-むしるために それで そして-彼は 座っていた 中に  
[H3947](#) [H2789](#) [H1623](#) [H3427](#) [H1931](#) [H8432](#)

הָאֶפֶר:  
 灰の  
[H0665](#)

ヨブは陶器の破片を取り、それで自分の身をかき、灰の中にすわった。

9 וַתֹּאמֶר לוֹ אִשְׁתּוֹ עַד-כָּךְ אֲשֶׁתּוֹ מַחְזִיק מְחַזֵּק אֶת-הָאֱלֹהִים  
 言った 彼に 彼の-妻が まだ 保っているのか あなたの-誠実さを 呪いなさい 神を  
[H0559](#) [H0802](#) [H5750](#) [H2388](#) [H8538](#) [H1288](#) [H0430](#)

וּמָת:  
 そして-死になさい  
[H4191](#)

時にその妻は彼に言った、「あなたはなおも堅く保って、自分を全うするのですか。神をのろって死になさい」。

10 וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ כְּדַבֵּר אַחַת הַנְּבִלּוֹת הַדְּבָרִים נָם אֶת-הַטּוֹב  
 言った 彼女に 話すように 一人の 愚かな-女のように おまえは-話す また 神を  
[H0559](#) [H0413](#) [H1696](#) [H0259](#) [H5036](#) [H1696](#) [H1571](#) [H0853](#)

נִקְבַּל מֵאֵת הָאֱלֹהִים וְאֶת-לֹא נִקְבַּל בְּכָל-זֶאת  
 受けるのに から 神 そして ない 悪いものは 受けないのか 全ての この-ことにおいて  
[H6901](#) [H0854](#) [H0430](#) [H0853](#) [H3808](#) [H6901](#) [H3605](#) [H2063](#)

לֹא-חָטָא אִיּוֹב בְּשִׁפְתָיו:  
 なかった ヨブに 罪を-犯すことは 彼の-唇で  
[H3808](#) [H2398](#) [H0347](#) [H8193](#)

しかしヨブは彼女に言った、「あなたの語ることは愚かな女の語るのと同じだ。われわれは神から幸をうけるのだから、災をも、うけるべきではないか」。すべてこの事においてヨブはそのくちびるをもって罪を犯さなかった。

וַיִּשְׁמְעוּ וּשְׁלֹשֶׁת רֵעֵי יוֹב אֵיבֹב אֶת כָּל-הָרָעָה הַזֹּאת הַבָּאָה עָלָיו וַיָּבֹאוּ 11  
 来た 彼に 降りかかった この 災いを すべての 一 ヨブの 友人が 三人の 聞いた  
[H0935](#) [H0935](#) [H2063](#) [H3605](#) [H0853](#) [H0347](#) [H7453](#) [H7969](#) [H8085](#)

אִישׁ מִמְּקוֹמוֹ אֵלֵיפַז הַתֵּימָנִי וּבִלְדָד וְהַשׁוּחִי וְצוֹפָר נַאֲמָתִי  
 ナアマ人の ツォファル シュア八人の ビルダデ テマン人の エリファズ 自分の-場所から 各々  
[H5284](#) [H6691](#) [H7747](#) [H1085](#) [H8489](#) [H0464](#) [H4725](#) [H0376](#)

וַיִּנְעֲדוּ יַחְדָּו לָבוֹא לְנוֹד־לוֹ וּלְנַחֲמוֹ:  
 嘆くために 彼を 慰め 来て 共に 約束し合って  
[H5162](#) [H5110](#) [H0935](#) [H3259](#)

時に、ヨブの三人の友がこのすべての災のヨブに臨んだのを聞いて、めいめい自分の所から尋ねて来た。すなわちテマンびとエリパズ、シュヒびとビルダデ、ナアマびとゾパルである。彼らはヨブをいたわり、慰めようとして、たがいに約束してきたのである。

וַיִּשְׂאוּ אֶת-עֵינֵיהֶם מֵרְחוֹק וְלֹא נִמְצָא הַכִּירָהוּ וַיִּשְׂאוּ קוֹלָם וַיִּבְכוּ וַיִּקְרְעוּ 12  
 引き裂いた 泣いた 声を 上げて 見分けることが なかった 遠くから 目を 一 上げた  
[H7167](#) [H1058](#) [H5375](#) [H3808](#) [H7350](#) [H0853](#) [H5375](#)

אִישׁ מֵעָלָיו וַיִּזְרְקוּ עָפָר עַל-רֹאשֵׁיהֶם וַיִּשְׂמְיָהוּ:  
 天に-向かって 頭の上-に 一 塵を まき散らした 上着を 各々  
[H8064](#) [H6083](#) [H2236](#) [H4598](#) [H0376](#)

彼らは目をあげて遠方から見たが、彼のヨブであることを認めがたいほどであったので、声をあげて泣き、めいめい自分の上着を裂き、天に向かって、ちりをうちあげ、自分たちの頭の上にまき散らした。

וַיִּשְׁבּוּ אִתּוֹ לָאָרֶץ שִׁבְעַת יָמִים וְשִׁבְעַת לַיְלֹת וְאִין דִּבֵּר אֵלָיו 13  
 彼に 話す-者は 誰も-なかった 夜 七 日 七 地に 彼と-共に 座った  
[H0413](#) [H1696](#) [H0369](#) [H3915](#) [H7651](#) [H3117](#) [H7651](#) [H0776](#) [H0854](#) [H3427](#)

דְּבָרֵי כִי רָאוּ מֵאֵד וְגַל כִּי-נָגַל הַכָּאֵב וְכִי-נָגַל רָאוּ מֵאֵד וְכִי-נָגַל הַכָּאֵב וְכִי-נָגַל רָאוּ מֵאֵד  
 非常に 苦しみが 大きい と 見たからである なぜなら 言葉を  
[H3966](#) [H3511](#) [H1431](#) [H7200](#) [H1697](#)

こうして七日七夜、彼と共に地に座っていて、ひと言も彼に話しかける者がなかった。彼の苦しみの非常に大きいのを見たからである。